

製品名: p38 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86457**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB, ICC/IF, FC, IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:100-1:200, FC 1:20-1:50, IP 1:10-1:100 |
| 分子量 | Calculated MW:41 kDa; Observed MW:41 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | p38 |
| 別名 | RK; p38; CSBP; EXIP; Mxi2; CSBP1; CSBP2; CSPB1; PRKM14; PRKM15; SAPK2A; p38ALPHA |
| 遺伝子 ID | 1432 |
| SwissProt ID | Q16539 |
| 免疫原 | ヒト p38 の合成ペプチド |

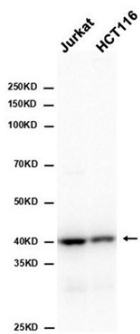
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、MAPキナーゼファミリーのメンバーです。MAPキナーゼは、複数の生化学的シグ

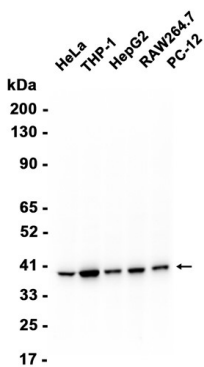
ナルの統合点として機能し、増殖、分化、転写調節、発達など、様々な細胞プロセスに関与しています。このキナーゼは、様々な環境ストレスや炎症性サイトカインによって活性化されます。活性化には、MAPキナーゼキナーゼ (MKK) によるリン酸化、または MAP3K7IP1/TAB1 タンパク質とこのキナーゼとの相互作用によって引き起こされる自己リン酸化が必要です。このキナーゼの基質には、転写調節因子 ATF2、MEF2C、MAX、細胞周期調節因子 CDC25B、腫瘍抑制因子 p53 などがあり、このキナーゼがストレス関連の転写および細胞周期調節、ならびに遺伝毒性ストレス応答において役割を果たしていることが示唆されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 4 つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

画像データ



p38 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、Jurkat、HCT116 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。



AMRe86457 を 1:500 で使用して、HeLa、THP-1、HepG2、RAW264.7、PC-12 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。